

第2学年2組 国語科学習指導案

雲南市立三刀屋中学校
会場 図書館

1 教材名 説得力のある提案をしよう プレゼンテーション (東京書籍 2年)

2 学習目標

- 説得力のある提案をするために、効果的な話の構成や資料の活用を積極的に考え、発表に取り組みようとする。【国語への関心・意欲・態度】
- 提案するための情報を集め、整理することができる。【話すこと】
- 資料や機器を活用して、分かりやすく印象的に話すことができる。【話すこと】
- 構成表や資料の中で漢字を適切に用いることができる。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

3 教材・指導について

本教材は、提案型のプレゼンテーションを行うことを通して、資料を活用し説得力のある話を組み立てることを目標としている。聞き手の理解を得るためには、説得力のある具体的な理由を挙げて話すことが大切である。図書資料やインターネット等を活用して、提案を強化する情報を得る活動を取り入れたい。また、効果的に資料や機器を活用することも、提案者の意図や熱意を伝える際に必要である。実物投影機で映す、文字や画像を使った資料を作成するといった活動に取り組みせ、印象的に話す力を育成したい。

本教材では、「伝統文化について調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説得力のある提案を行う」という言語活動を設定した。今学期、総合的な学習の時間における「ふるさと学習」で、生徒は地域講師の方から郷土に伝わる伝統文化を学んだ。その際取り組んだ「神楽」「和太鼓」「盆踊り」という伝統文化の継承を提案する5分のプレゼンテーションを3～4人のグループで行う。図書資料やインターネット等で調査し、様々な情報を「情報カード」にまとめたり、画像を記録したりする。次に各自が収集した情報を持ち寄って提案理由を練りあげ、提案の構成表と提示資料を作成した後、プレゼンテーションの発表会を行う。資料を提示することでプレゼンテーションの説得力が高まる体験を通して、今後の情報発信における意欲の高まりや技能の定着につなげたい。

4 言語活動

- ・ 伝統文化について調べて分かったことや考えたことなどに基づいて説得力のある提案を行う。【言語活動例A(2)ア】

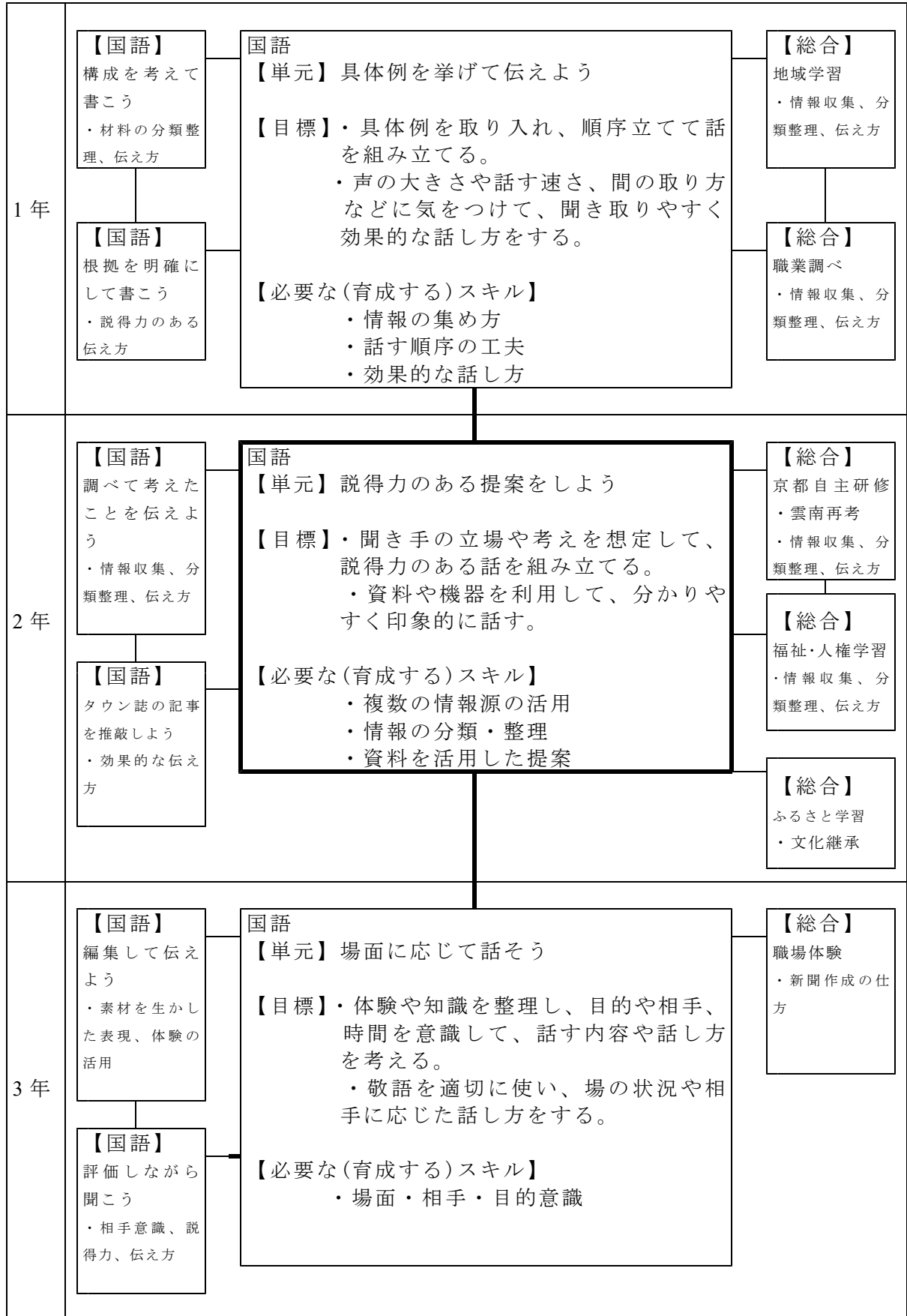
5 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	話す能力	言語についての知識・理解・技能
○提案発表に興味を持ち説得力のある提案を組み立てようとしている。 ○提案を強化できるような資料を作成しようとしている。	○提案を強化するための情報を収集・整理している。 ○資料や機器を活用した、分かりやすく印象的な提案している。	○発表資料に適切に漢字を用いている。

6 単元の指導と評価の計画(全6時間)

次	時	目 標	主な学習活動	評 価			評価規準(方法)
				関心	話す	言語	
1	1	プレゼンテーションについて理解を深め、提案事項を決める。	①プレゼンテーションのイメージを持つ。 ②「神楽」「和太鼓」「盆踊り」からグループの提案事項を決める。	○			【関】提案発表に意欲的に取り組もうしている。(観察・振り返り)
2	2	提案理由を練りあげるための情報を収集する。	①図書資料とインターネットの情報を情報カードにまとめる。 ②活用できそうな写真や画像を記録する。	○	○		【関】意欲的に情報を収集しようとしている。(観察・振り返り) 【話】提案につながる情報を収集している。(情報カード・カメラ)
3	3 (本時)	提案理由を練りあげ、提案の組み立てを考える。	①収集した情報を読み合い、提案理由を練りあげる。 ②説明の順序を話し合い、必要に応じて資料の補充をする。	○	○		【関】話し合い活動に意欲的に参加している。(観察・振り返り) 【話】提案理由を練りあげ効果的な提案の組み立てを考えている。(ワークシート)
	4	説得力のある話の組み立てを考え、構成表と資料を作成する。	①伝え方を考え、説得力のある構成表を作成する。 ②提案を強化する提示資料の作成計画を立て、作成する。	○	○		【関】構成表や資料作成に意欲的に取り組んでいる。(観察・振り返り) 【話】説得力のある伝え方を考え、計画的に必要な資料を作成している。(構成表・資料)
	5	効果的な資料を作成しプレゼンテーションのリハーサルを行う。	①提案を強化する提示資料を作成する。 ②プレゼンテーションのリハーサルをし、改善点を話し合う。		○	○	【話】提案を強化できる資料を作成し、提示の方法を工夫している。(リハーサル・構成表) 【言】提示資料に適切に漢字を用いている。(資料)
4	6	プレゼンテーションの発表会を行い感想を述べ合う。	①プレゼンテーションの発表会を行う。 ②それぞれの発表について感想を述べ合う。	○	○		【関】プレゼンテーションの発表会に興味をもって参加している。(観察・振り返り) 【話】資料や機器を活用した印象的な提案をしている。(発表)

7 単元構成モデル案



8 本時の学習(第3次 1時間目)

(1)目標

- ・情報を吟味して提案理由を練りあげ、提案の組み立てを考える。【A(1)ア】

(2)展開

●学校司書

時	学習活動	教師の支援	評価(評価方法)
5	○本時の学習課題を確認する。	○本時の流れを示す。 ○学習の流れと言語活動を確認し、学習の見通しをもたせる。	
提案理由と、プレゼンテーションの組み立てを決めよう。			
25	○前時に収集した情報をグループで読み合い、提案理由を練りあげる。	○情報カードと印刷した画像を返却する。 ○「まなボード」を活用して提案理由を選ぶよう助言し、ワークシートに記入させる。 ○●机間指導をし、各班の進み具合を確認したり助言したりする。	☆話し合い活動に意欲的に参加し提案理由を考えようとしている。 【関】(観察) ☆情報を活用し説得力のある提案理由を選ぶことができる。【話す】(観察・ワークシート)
15	○提案の組み立てを考える。	○ワークシートに記入させる。 ○必要に応じ資料の補充をする。 ●適宜図書を紹介する。	☆効果的な説明の順序を考えている。【話す】(観察・ワークシート)
5	○本時の振り返りをし、次時の予定を知る。	○振り返りを記入させる。 ○次時は構成表と資料を作成することを示す。	

(3)本時の評価

十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援を必要とする生徒への指導の手立て
説得力のある提案理由を選び、効果的な説明の順序を考えている。	情報を活用して提案理由を選び、説明の順序を考えている。	伝統芸能の魅力や活動している人の思いを参考にしよう助言する。

9 研究の視点

- 情報カードは提案理由を練りあげるのに有効であったか。
- グループでの話し合いはプレゼンテーションを意識した話し合いになっていたか。

10. 研究協議の概要

実施単元	説得力のある提案をしよう プレゼンテーション(2年国語)
参加者	校内 6名 校外 18名 計 24名
授業及び研究協議の概要	<p>同級生に向けた「地域の伝統文化継承を提案するプレゼンテーション」を目標とした全6時間の学習の3時間目。図書資料やインターネットで収集した伝統文化についての情報を整理し、提案の組み立てをグループで考える活動を公開した。</p> <p>生徒が情報カードの記入や「まなボード」を使った活動に意欲的に取り組んでいたことやタイムマネジメントができていたことは評価できる。活動のゴールや発表の視点を明示して活動や振り返りに活かすとよい。活動の中間発表があるとよりよかった。振り返りは書くだけでなく、発表して共有できるとよい。などの意見が出た。</p>